

第 19 回 運営推進会議資料

令和 7 年 10 月 7 日

デイサービスセンターみのり

- 1、運営推進会議開催について
 1. 管理者の挨拶
- 2、運営推進会議構成員の紹介
- 3、利用登録状況
- 4、ご利用者同士のトラブルや嫌がらせについて
- 5、レクリエーション実施状況と予定
- 6、研修・会議の実施報告等
 - (事故・ヒヤリハット苦情報告について)
 - (満足度アンケート結果)
- 7、評価及びご意見について
- 8、次回のご案内
- 9、閉会の挨拶

1) 第19 デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催について

日 時：令和7年10月7日 13:30～14:00

場 所：デイサービスセンターみのり

1. 管理者からの挨拶
2. 自己紹介

2) 【運営推進会議構成員出席者】

1. 大宅学区民生児童委員協議会：欠席
2. 老人福祉員：1名
3. 利用者代表：1名
4. 大宅地域包括支援センター：1名

【デイサービスセンターみのり関係出席者】

1. 管理者：1名

3) 利用登録者概要

◆ご利用状況とご利用者の特徴

1. 登録者数が3名減っています。
2. 前回と比較して介護度や認知症の方など大きな変化はありません。
3. 必要性が高い方が増えていることで、休まれる方が減っています。
4. 自宅での徘徊が多くなり、毎日利用になられた方がお一人おられます。

令和7年10月1日現在

登録者数	19名（現在90%の登録があり残り5枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（4名）要介護2（8名）要介護3（5名） 要介護4（1名）要介護5（0名）
	要支援Ⅰ（0名） 要支援Ⅱ（1名）
ご利用登録状況	月（8名）火（10名）水（7名）木（10名）金（10名）

前回令和7年3月1日（前回6ヶ月前の状況）

登録者数	22名（現在92%の登録があり残り4枠の空きがあります。）
介護度別登録者数	要介護1（5名）要介護2（8名）要介護3（7名） 要介護4（0名）要介護5（0名）
	要支援Ⅰ（0名） 要支援Ⅱ（2名）
ご利用登録状況	月（10名）火（9名）水（9名）木（8名）金（10名）

4) ご利用者同士のトラブルや迷惑行為について

1. 冗談のつもりで他のご利用者を驚かせて楽しまれる（男性ご利用者）

◆ 嫌がらせ行為

(例) 突然机を叩いて大きな音を出して寝ている方を起こす。

特定のご利用者に向けて杖を振り回して威嚇される

他人が嫌がるセクハラ発言をして喜ばれている

- 対応としては、皆さんが驚くのでやめて頂きたいことをご本人へ伝えていましたが、「何が悪い」と言われ余計に興奮されるため、周りのご利用者へのホローを職員が行い出来るだけ、穏便に済むようにしていました。
- ご家族や担当ケアマネジャーと検討をおこない、主治医の判断で安定剤を処方されることとなり、現在はトラブルや迷惑行為は減っておりますが安定剤の量が多いと歩行状態やADLの低下につながり介助の負担や転倒リスクが増えています。

2. 気に入らない方がいると嘘をついてやめさせようとされる（女性ご利用者）

◆ 強い独占欲や自分中心の考え方が目立っている

(例) 虚言癖があり自分の都合に合わせて事実を変えてしまわれる

気に入らないご利用者がいると、やめさせるための嘘をつく

①主治医から、その方がいるとストレスで声が出なくなると言われたと職員に言ってこられ、数日後の利用中に突然声が出なくなるとジェスチャーをされ1週間程度喋れない演技を続けられた。

②別のご利用者に対しては、ひどいことを言われたと職員に言ってこられ、言われた内容のメモを見せられたが、日時が食い違っていたり、脳梗塞の後遺症で言語障害が有り、メモのような長文を話せない方であった。

※その他にも何度もこのような、行動がみられている。最初のころはご家族と共にクレームを言われていたが、最近では、ご家族も虚言癖があることを認めていただいている。

- 初めのころは、ご本人の訴えを信じて対応を行っていたため、ご本人の希望で席替えや相手への事実確認を行っていいましたが、あまりにも事実が違っていたので、相手への迷惑にならないようにご本人と十分話し合いを行って対応するようにしています。
- 職員もご本人の行動パターンや虚言癖についての理解が出来てきたことで、事実かどうかの判断が容易に出来るようになり、必要に応じたご家族への事実確認も合わせて行うことで、トラブルを減らすことが出来ている。

まとめ：その他にも、問題行動や迷惑行為は起きていますが、出来るだけ皆さんが楽しくご利用できるように、お互いのご利用者が傷つかないような配慮を心がけて慎重に対応を行うようにしております。

5) 誕生日会・行事・レクリエーション

【誕生日会実施状況】

(3月1名)(4月3名)(5月0名)(6月3名)(7月1名)(8月4名)(9月1名)

- ・写真入りのお祝いのお言葉を書いた色紙をお渡しいたしました。
- ・皆さんでハッピーバースデーと一緒に歌ってお祝い致しました。
- ・他のご利用者からのお祝いのお言葉を頂きました。
- ・皆さん笑顔になられ、とても喜んで頂きました。

【レクリエーション実施状況と予定】

◆ 週替わりで様々なレクリエーションを実施いたしました。

- 4月 風船バレー/★お花見/カレンダー作り/カップインゴルフ/ウナギ釣りゲーム
- 5月 みんなでカラオケ/缶ボーリング/ビアポン/TV ボーリング
- 6月 魚釣りゲーム/すごろく/カレンダー作り/言葉ビンゴゲーム
- 7月 ボール落としゲーム/テーブルテニス/輪投げ/みんなでカラオケ/カーリング
- 8月 重さあてゲーム/カレンダー作り/★夏祭り/TV ボーリング
- 9月 とんとん相撲/カジノ風ゲーム/★敬老のお祝い/写真たて作り/テーブルテニス
- 10月 ゴム鉄砲的当て/★運動会/カレンダー作り/魚釣りゲーム

※ ★印は、行事や外出レクリエーション

6) 研修・会議の実施報告

【研修報告】

<令和7年3月 第6回感染症対策研修及び委員会会議>

1. 感染症流行状況
2. 食中毒症状について
3. 委員会による消毒実施状況確認

<令和7年4月 BCP 研修及び机上訓練>

1. BCP 研修（地震災害時に想定される身近な被害）
2. BCP（机上訓練）の内容説明

<令和7年5月 BCP 感染症及び感染症予防・まん延防止研修>

1. 感染症発生時の行動と対応
2. 感染症予防とまん延防止対策

<令和7年6月 リスクマネジメント委員会研修>

1. 緊急時対応について
2. ヒヤリハット事例検討

<令和7年6月 マニュアルの検討会議>

1. リスクマネジメントマニュアル及び指針の検討
2. その他マニュアル等の検討

<令和7年7月 第7回 感染症・食中毒防止研修>

1. 今後のコロナウィルス対応
2. 介護職員向け感染症予防対策
3. 食中毒の感染経路

<令和7年7月 個別サービス検討会議>

1. 他のご利用者への迷惑行為

<令和7年7月 感染症対策委員会会議>

1. マニュアル及び指針検討
2. 感染症発生状況
3. 感染症まん延防止対策

<7月 満足度アンケート集計結果>

実施人数：男性2名 女性17 計19名(入院等の欠席者等を除く)

〔調査内容〕

	満足	普通	不満足	満足度(%)
1. ご利用内容	19名			100%
2. 食事内容	19名			100%
3. 送迎	19名			100%
4. 入浴	15名(4名入浴なし)			100%
5. 機能訓練	19名			100%
6. レクリエーション	19名			100%
7. 喫茶	18名(1名喫茶なし)			100%
8. 職員対応	19名			100%

◆喫茶と入浴に関しては、提供なしの方を除いて計算しています。

1. 今回で8回連続での全てにおいて満足度100%でした。
2. 毎回、個別に聞き取りを行いすべての方に満足をして頂いているとの結果でした。
3. 小規模事業所の利点である手厚いサービスが出来ている結果だと感じています。
4. 前回から職員の退職者もなく同じスタッフがいることでご利用者にとっては、安心感につながっていると思われます。
1. これからも丁寧に個々の状態や状況に合ったサービス提供を心掛けるようにしたいと考えております。

<令和7年8月 虐待防止研修及び会議(虐待防止委員会)>

1. 権利擁護と虐待事例事業別比率
2. 身体拘束事例の傾向
3. 権利擁護マニュアル検討会議

<令和7年9月 介護技術腰痛対策研修>

1. 腰痛予防体操
※ この他、毎月定例会議を行っています。

【ヒヤリハット・会議報告】

- ◆ ヒヤリハット・事故・苦情報告検討会議については継続して毎月実施再発防止や事故を起こさないために、ヒヤリハット等の報告を行い、毎月行われる定例会議で共有と検討を行っています。

〈月別発生件数〉

〔4月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

- ションで椅子に座って風船バレーを行っていた際に、椅子から滑り落ちられた。
・怪我などはなかったが今後は、しっかりと椅子に座って頂き、協議中も度々声掛けを行うこととした。

〔7月：ヒヤリハット2件 事故0件 苦情0件〕

- 前に座っているご利用者の後ろを通ろうとされた別のご利用者が「あんた、こんな所にいたら通られへん」と強い口調で言っておられた。
・今回に限らず強い口調で言われる方で、何度かトラブルもあり、職員も注意をして対応していますが、突然起こることが多いため、状況を予測して対応を行う様に心掛けて行きます。

- お帰り後連絡帳を返し忘れてしまった。
・お帰り前のトイレ内容やパット枚数を記入しようとしたため、連絡袋に入れず置かれていたが、職員同士の連携不足で、最終確認が出来ず入れ忘れた。
今後は、置く場所を決めて、入れ忘れが起きないようにした。

〔8月：ヒヤリハット1件 事故0件 苦情0件〕

- 四肢麻痺の方で、お迎え時に自宅の玄関から車椅子に移乗の際に膝オレになり支えたが床にゆっくり座られた。
・自宅の上がり框が2段になっている為、車いすでの昇降も出来ずご本人を介助して移乗するしかできない状況であった。体調やADL変化で突然膝オレされることも想定されることから今後は、2名対応で様子を見ながら、ケアマネージャーとスロープ設置の相談も行っているが、ご家族が設置を拒んでいる。

上記の運営推進会議資料をご覧ください、ご評価及びご感想お願いいたします。

【評価と感想】

老人福祉員：同じ職員さんが長く働いておられると、利用者さんも安心ですね。

管理者：永く継続して勤務されている職員が多く10年以上勤務されている方もいます。

老人福祉員：聞かせて頂いて、いろんな方がおられてとても大変だと思います。

包括支援センター：利用者さん第一に考えておられ、誠実さが見えています。

利用者代表：いつも丁寧に対応して頂いています。知り合いに聞いても、そこまでやってもらっていないと聞きます。

※ 次回の第20回運営推進会議は、令和8年4月頃を予定しております。

今後ともご協力宜しくお願い致します。

- ◆ 管理者より閉会の挨拶